

Dell EMC Systems Management Tools And Documentation インストールガイド

バージョン 9.2

メモ、注意、警告

① | **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

△ | **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。

⚠ | **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

著作権 © 2018 すべての著作権は Dell Inc. またはその子会社にあります。Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

目次

1 概要	4
システム管理ソフトウェア.....	4
管理下システムと管理ステーション.....	4
Systems Management Tools and Documentation ソフトウェア.....	5
管理下システムソフトウェア.....	5
管理ステーションソフトウェア.....	5
DTK の廃止に関するお知らせ.....	7
2 Windows での管理ステーションソフトウェアのインストール	8
Microsoft Windows Server および Hyper-V Server での管理ステーションソフトウェアのインストール.....	8
Installing management station software using the CLI mode.....	8
Uninstalling management station software using the CLI mode.....	9
3 サポートされる Red Hat Enterprise Linux / SUSE Linux Enterprise Server での管理ステーションソフトウェアのインストール	10

概要

『Systems Management Tools and Documentation インストールガイド』は、管理ステーションソフトウェアの概要とそのインストール手順について説明します。Server Administrator のインストール方法については、『Dell EMC Systems Management Tools and Documentation』ソフトウェアに収録されている『Dell EMC Server Administrator インストールガイド』を参照してください。

システム管理ソフトウェア

システム管理ソフトウェアは、以下の 3 つのソフトウェアから構成されます。

- Systems Management Tools and Documentation
- サーバーアップデート
- 管理コンソール

www.dell.com/support からソフトウェアの ISO イメージをダウンロードできます。

① **メモ:** ソフトウェア DVD が必要な場合は、注文時または販売後にオプションしてソフトウェア DVD を購入する必要があります。

システム管理ソフトウェアに対応したシステム、対応オペレーティングシステム、およびコンポーネントについては、『Dell EMC OpenManage システムソフトウェアサポートマトリックス』(dell.com/openmanagemanuals) を参照してください。

トピック :

- [管理下システムと管理ステーション](#)
- [Systems Management Tools and Documentation ソフトウェア](#)

管理下システムと管理ステーション

システム管理ツールの使い方に応じて、システムを次のよう分類することができます。

- **管理下システム**
管理下システムとは、Server Administrator または Management Console を使用して監視および管理される任意のシステムです。Server Administrator は、Systems Management Tools and Documentation ソフトウェアに収録されているシステム管理ツールの 1 つです。Server Administrator を実行しているシステムを、ローカルで管理、またはサポートされているウェブブラウザを使ってリモートで管理できます。Server Administrator に関する詳細については、Systems Management Tools and Documentation ソフトウェアに収録されている『Server Administrator ユーザーズガイド』を参照してください。
- **管理ステーション**
管理ステーションとは、中心となる場所から 1 台または複数台の管理下システムをリモートで管理するために使用できるノートブック、デスクトップ、またはサーバです。次のようなツールを使用できます。
 - Intelligent Platform Management Interface (IPMI) ユーティリティ
 - Remote Access Controller (RAC) ツール
 - Dell OpenManage Essentials または Server Administrator Web Server

Systems Management Tools and Documentation ソフトウェア

Systems Management Tools and Documentation ソフトウェアにはシステム管理ソフトウェアが含まれます。システム管理ソフトウェアは、システムコンポーネントの監視、問題の診断、アラートによる通知、およびリモートでのトラブルシューティングによってシステム管理に役立ちます。システム管理ソフトウェアは、管理下システムソフトウェアと管理ステーションソフトウェアに分類されます。

管理下システムソフトウェア

管理下システムソフトウェアは、次のアプリケーションに含まれます。

- Server Administrator

Server Administrator は、Web ブラウザベースのグラフィカルユーザーインターフェイス (GUI) とコマンドラインインターフェイス (CLI) を使用して、サーバーをローカルおよびリモートで管理できる、包括的な 1 対 1 の帯域内管理ソリューションを提供します。Server Administrator では、サーバ固有のリモートアクセス (RAC) カードとネットワークインターフェイス管理コンポーネントがインストールされます。

① **メモ:** 64 ビットオペレーティングシステムを実行しているシステムで新規インストールを実行すると、64 ビットバージョンの Server Administrator がインストールに使用されます。Server Administrator をアップグレードする場合、32 ビットバージョンの Server Administrator がアップグレードに使用されます。

- Local Remote Access Controller

Local Remote Access Controller は、電圧、温度、およびファンの速度に関連する警告またはエラーをシステムが電子メール警告で受け取ることができるようにします。Remote Access Controller は、考えられるシステムクラッシュの原因の診断に役立つように、イベントデータおよび最新のクラッシュ画面 (Microsoft Windows オペレーティングシステムを実行しているシステムでのみ使用可能) も記録します。

管理ステーションソフトウェア

Systems Management Tools and Documentation ソフトウェアを使ってインストールできる管理ステーションソフトウェアは、次のアプリケーションに含まれます。

- Active Directory Snap-In

Active Directory (AD) Snap-In ユーティリティは、本ソフトウェアの製品に固有の AD オブジェクトを管理するための、Microsoft Active Directory への拡張スナップインを提供します。

- BMC/IPMI ユーティリティ

BMC Management Utility (BMU) は、ベースボード管理コントローラ (BMC) または IPMI プロトコルを使用した iDRAC 搭載のシステムのリモート管理と設定機能を提供します。IPMI ユーティリティは、CLI ベースの管理ステーションソフトウェアです。

BMU の詳細については、『ベースボード管理コントローラユーティリティユーザズガイド』を参照してください。

① **メモ:** 32 ビットインストーラのみが利用可能です。

- RAC ツール

RAC コンソールは、システムにリモート管理機能を提供する管理ステーションソフトウェアです。RAC ハードウェアへは、ウェブブラウザまたは RACADM コマンドラインインターフェイス (CLI) のどちらかを使用してリモートで接続し、RAC 機能にアクセスできます。RACADM CLI は RAC へのコマンドラインユーザーインターフェイスです。

RAC は、管理下システムまたは管理ステーションのいずれかにインストールできます。

管理下システムへの RAC のインストールの詳細については、『*Server Administrator* インストールガイド』を参照してください。管理ステーション上でのインストールについての情報は、[Windows への管理ステーションソフトウェアのインストール](#)を参照してください。RAC の詳細に関しては、『*Remote Access Controller ユーザーズガイド*』を参照してください。

- Dell Lifecycle Controller

デルでは、Dell Systems Build and Update Utility (SBUU) の代わりに、組み込み型管理、Integrated Dell Remote Access Controller 8 (iDRAC8) with Lifecycle Controller を使用することを推奨します。SBUU は、デルの第 13 世代 PowerEdge サーバでは Lifecycle Controller と置き換えられます。Lifecycle Controller を使用する iDRAC は、オペレーティングシステムの導入および PowerEdge サーバのライフサイクル管理のための内蔵システム管理アプリケーションです。Dell Lifecycle Controller にはシステムの起動中に **<F10>** を押してアクセスできます。iDRAC8 with Lifecycle Controller のローカル GUI を使用し、pre-OS 環境で以下を実行できます。

- ハードウェア設定
- オペレーティングシステムとハイパーバイザーの導入
- ハードウェアアップデート
- ハードウェア診断
- PowerEdge サーバの簡易メンテナンス

Lifecycle Controller は、デルの第 11 世代以降のすべての PowerEdge サーバに組み込まれています。Lifecycle Controller の機能を使用するために、ツールやダウンロードは必要ありません。

詳細については、dell.com/support/manuals で入手できる次のマニュアルを参照してください。

- *Dell Lifecycle Controller* バージョン <バージョン番号> ユーザーズガイド
- *Dell Lifecycle Controller Remote Services* バージョン <バージョン番号> クイックスタートガイド
- *Dell Lifecycle Controller Web Services* インタフェースガイド
- *Lifecycle Controller Integration* のベストプラクティス

- Dell OpenManage Essentials

IT Assistant の代替として、Dell OpenManage Essentials を使用することをお勧めします。Dell OpenManage Essentials (OME) は、次のような改善された機能を提供します。

- システムの検出とインベントリ。
- システムの正常性の監視。
- システムアラートの表示と管理。
- システムアップデートの実行。
- ハードウェアインベントリおよび準拠レポートの表示

Dell OpenManage Essentials の詳細については、サービスプロバイダにお問い合わせください。

- iDRAC サービスモジュール

iDRAC サービスモジュールは、負荷の軽いオプションのソフトウェアアプリケーションで、デルの第 12 世代以降の PowerEdge サーバにインストールできます。iDRAC サービスモジュールを使用して、サポートされるオペレーティングシステム上で機能を設定できます。iDRAC サービスモジュールはその他のサーバ管理データを iDRAC に提供し、OS インタフェースを通してシステム管理データへのアクセス権を持つ、1 対多のコンソールを提供します。

また、iDRAC サービスモジュールは、GUI、RACADM CLI、および WSMAN などの iDRAC インタフェースを追加の監視機能を使用して補完します。詳細については、dell.com/support/home で入手可能な『*iDRAC Service Module* <バージョン番号> インストールガイド』を参照してください。

- Dell OpenManage Deployment Toolkit (DTK)

『Dell OpenManage Deployment Toolkit (DTK) 』には、一連のユーティリティ、サンプルスクリプト、およびサンプル設定ファイルが含まれており、Dell システムの導入および設定に使用できます。DTK を使用して、現在の導入プロセスを変更せずに信頼性の高い方法で、プレオペレーティングシステム環境での多数のシステム導入用に、スクリプトベースと RPM ベースのインストールを構築できます。DTK を使用すると、Dell システムに BIOS または UEFI (Unified Extensible Firmware Interface) モードで、オペレーティングシステムをインストールできます。

さまざまなシステム機能の設定に使用するコマンドラインユーティリティのほかに、DTK も一般的な導入タスクを実行するためのサンプルスクリプトと設定ファイルおよびマニュアルを提供します。これらのファイルとスクリプトは、Microsoft Windows Pre-installation Environment (Windows PE) およ

び Linux 環境での DTK の使用について説明しています。詳細については、dell.com/openmanagemanuals で入手できる次のマニュアルを参照してください。

- *Dell OpenManage Deployment Toolkit* バージョン < バージョン番号 > ユーザーズガイド
- *Dell OpenManage Deployment Toolkit* バージョン < バージョン番号 > コマンドラインインタフェースリファレンスガイド
- *Dell OpenManage Deployment Toolkit* バージョン < バージョン番号 > インストールガイド

DTK の廃止に関するお知らせ

OpenManage Deployment Toolkit (DTK) と以下の関連ツールおよび機能は、6.1 以降廃止されます。

- Redundant Array of Independent Disks Configuration (RAIDCFG) ユーティリティ
- システム設定 (SYSCFG) ユーティリティ
- ELI ツール
- ユーティリティパーティション (UPINIT)

RAIDCFG ユーティリティと SYSCFG ユーティリティの代替として、RACADM コマンドライン (CLI) を使用することが推奨されています。RACADM のダウンロードの詳細に関しては、support.dell.com を参照してください。

① メモ: DTK は、第 14 世代 PowerEdge サーバのすべての新しいハードウェアまたはオペレーティングシステムを引き続きサポートします。ただし、その世代より後の PowerEdge サーバのサポートは廃止されます。DTK によってサポートされる機能の詳細に関しては、最新のユーザーガイド (Dell.com/openmanagemanuals) を参照してください。

Windows での管理ステーションソフトウェアのインストール

- 1 管理ステーションアプリケーションをインストールするシステムに、システム管理者権限でログインします。
- 2 *Systems Management Tools and Documentation* ソフトウェアを DVD ドライブに挿入するか、またはウェブインストーラをダウンロードします。
 ⓘ **メモ:** ウェブインストーラは、dell.com/support/home からダウンロードすることができます。
- 3 `autorun.exe` を実行します。
 ⓘ **メモ:** DVD を使用してインストールを行っている場合は、インストールする管理ステーションアプリケーションを選択し、インストールをクリックします。
- 4 インストールウィザードの手順に従います。
 ⓘ **メモ:** リモート RAC (管理ステーションにインストールされた RAC) とローカル RAC (管理下システムにインストールされた RAC) を同じシステムにインストールすることはできません。

Microsoft Windows Server および Hyper-V Server での管理ステーションソフトウェアのインストール

Windows Server または Hyper-V Server オペレーティングシステムは、ソフトウェアコンポーネントのインストールに基づくグラフィカルユーザーインターフェース (GUI) はサポートしていません。ソフトウェアは Server Core で CLI モードでインストールします。Server Core の詳細については、Microsoft のウェブサイトを参照してください。

- ⓘ **メモ:** ビルトイン Administrator としてログインし、Windows Server および Windows クライアントのオペレーティングシステムにシステム管理ソフトウェアをインストールします。ビルトイン Administrator アカウントの詳細については、Windows Server ヘルプを参照してください。

Installing management station software using the CLI mode

- ⓘ **NOTE:** Run the Command Prompt as an administrator to successfully perform tasks using the CLI mode.

To install the RAC Tools, launch the MSI file using the command:

- `msiexec /i RACTools_x64.msi`

- ⓘ **NOTE:** On the *Systems Management Tools and Documentation* software:

- The `RACTools_x64.msi` file is located at `SYSMGMT\ManagementStation\windows\DRACx64`
- DRAC tools provide local and remote management capabilities for system equipped with iDRAC.

- ⓘ **NOTE:**

The DRAC tools upgrade fails when you try to upgrade to 9.1.2 from any previous versions. However, the DRAC tools upgrade to 9.1.3 is supported. Therefore, it is recommended to upgrade to 9.1.3 from any previous versions. You can also uninstall the previous version and can do a fresh install of DRAC tools 9.1.2.

To install BMU, launch the MSI file using the command:

```
msiexec /i BMC.msi
```

NOTE: Only 32-bit installer is available.

NOTE: The BMC.msi file is located at `SYSMGMT\ManagementStation\windows\BMC` on the *Systems Management Tools and Documentation software*.

To install Active Directory Snap-In, launch the MSI file using the command:

- `msiexec /i ADSnapIn_x64.msi`

NOTE: On the *Systems Management Tools and Documentation software*:

- The `ADSnapIn_x64.msi` file is located at `SYSMGMT\ManagementStation\windows\ADSnapInx64`

To install the localized version of the management station software, at the command prompt type the following: `msiexec / I <management_station_software>.msi TRANSFORMS= <language_transform>.mst`

NOTE: Replace `<language_transform>.mst` with the appropriate language file:

- 1031.mst (German)
- 1034.mst (Spanish)
- 1036.mst (French)
- 1041.mst (Japanese)
- 2052.mst (Simplified Chinese)

Uninstalling management station software using the CLI mode

To uninstall management station software, run the commands as listed in the table below.

Table 1. Commands to uninstall management station software

Management Station Software	Command
RAC Tools	<code>msiexec /x RACTools_x64.msi</code> (or) <code>msiexec /x {5EE2BB75-355C-444E-A2BC-62C9D6E18C00}</code>
BMC (32 bit)	<code>msiexec /x BMC.msi</code> (or) <code>msiexec /x {B3C9155B-22E3-4790-B962-F5160D5ECC52}</code>
Active Directory Snap-In	<code>msiexec /x ADSnapIn_x64.msi</code> (or) <code>msiexec /x {95A0A005-D544-4E6F-9F9F-657A0BAF6CFF}</code>
Systems Management	<code>msiexec /x SysMgmtx64.msi</code> (or) <code>msiexec /x {3E00E446-F55A-4E59-B852-2CFFFAE4FE6A}</code>

サポートされる Red Hat Enterprise Linux / SUSE Linux Enterprise Server での管理ステーションソフトウェアのインストール

Red Hat Enterprise Linux、SUSE Linux Enterprise Server、および VMware ESXi Server オペレーティングシステムでサポートされるのは、RAC ツールおよび BMU のみです。

Red Hat Enterprise Linux オペレーティングシステムを実行しているシステムでは、**-noexec mount** オプションを使用すると DVD が自動マウントされます。このオプションでは、DVD から実行ファイルを実行することはできません。DVD-ROM を手動でマウントし、その後実行ファイルを実行します。

BMU をインストールするには、`SYSMGMT/ManagementStation/linux/bmc` ディレクトリに移動し、オペレーティングシステムに固有の BMU rpm をインストールします。

最新バージョンの RAC ツールをインストールするには、次の手順を実行します。

- 1 既存の IPMI ツールをアンインストールするには：
 - a 既存の IPMI ツールをクエリで探します：`rpm -qa | grep ipmitool`
IPMI ツールがすでにインストールされている場合、クエリは `ipmitool-x.x.xx-x.x.xx` を返します。
 - b IPMI ツールをアンインストールするには、次の手順を実行します。
 - SUSE Linux Enterprise Server および VMware ESXi Server を実行しているシステムでは、`rpm -e ipmitool-x.x.xx-x.x.xx` と入力します。
 - Red Hat Enterprise Linux 6.x を実行しているシステムでは、`rpm -e ipmitool` と入力します。
 - Red Hat Enterprise Linux 7.x を実行しているシステムでは、`rpm -e OpenIPMI-tools` と入力します。

 **メモ:** 既存の IPMITOOL によって行われた設定は維持されます。

- 2 `SYSMGMT/ManagementStation/linux/rac/<OS>` ディレクトリを参照してから、`rpm -ivh *.rpm` と入力します。